

財政状況の分析

区 分	内 容																				
財務上の特徴	<p>当町は6割を山林・原野が占める中山間地域で、若年齢層の流出などにより人口は年々減少し、少子・高齢化が急速に進行しています。こうしたなか、町の財政状況は歳入の中心である地方交付税が年々減少し、町税は税源移譲や税制改正により増加したものの、今後の増加は見込めない状況にあります。歳出では、扶助費の増加や特別会計及び公営企業に対する繰出金等が年々増加し大きな財政負担となっています。また、平成16・17年度で皆野小学校校舎建替事業を実施、引き続いて平成19・20年度で皆野中学校校舎建替事業を実施します。これにより基金残高も減少し、今後の財政運営は更に厳しくなります。平成17年度の実質公債費比率は17.0%と高く、類似団体平均と比較しても大きく上回っています。</p>																				
財政運営課題	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="432 667 628 719">課 題</td> <td data-bbox="632 667 1457 719">上下水道事業に対する繰出金の適正運用</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="432 723 1457 831">上下水道事業に対する繰出金は年々増加しています。皆野・長瀬水道企業団及び秩北衛生下水道組合（公共下水）の経営改善に取り組み、財政の健全化を図ることにより繰出金を削減します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 835 628 887">課 題</td> <td data-bbox="632 835 1457 887">特別会計に対する繰出金の適正運用</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="432 891 1457 999">特別会計（国保・老保・介護）に対する繰出金は年々増加しています。特に国保特会に対する赤字補てん財源繰出金は平成17年度が71,265千円であり、今後は国保税の見直しを検討し実施します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1003 628 1055">課 題</td> <td data-bbox="632 1003 1457 1055">町税徴収率の向上</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="432 1059 1457 1167">平成17年度の徴収率は81.6%で類似団体平均を下回っています。平成18年度は81.8%と僅かに向上しました。特に固定資産税の徴収率が極端に低く、今後も滞納整理の強化等に取り組みます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1171 628 1223">課 題</td> <td data-bbox="632 1171 1457 1223">自主財源の確保</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="432 1227 1457 1335">自主財源の確保については、町税の確保とともに、未利用地売払い等による財産収入の増額や、使用料・負担金等の見直しに取り組みます。また使用料や負担金の滞納整理についても積極的に実施します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1339 628 1391">課 題</td> <td data-bbox="632 1339 1457 1391">給与水準の適正化</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="432 1395 1457 1496">平成17年度のラスパイレス指数は79.6%で類似団体内で最下位となっています。地域手当の廃止と併せ給与水準の適正化を図ります。</td> </tr> </table>	課 題	上下水道事業に対する繰出金の適正運用	上下水道事業に対する繰出金は年々増加しています。皆野・長瀬水道企業団及び秩北衛生下水道組合（公共下水）の経営改善に取り組み、財政の健全化を図ることにより繰出金を削減します。		課 題	特別会計に対する繰出金の適正運用	特別会計（国保・老保・介護）に対する繰出金は年々増加しています。特に国保特会に対する赤字補てん財源繰出金は平成17年度が71,265千円であり、今後は国保税の見直しを検討し実施します。		課 題	町税徴収率の向上	平成17年度の徴収率は81.6%で類似団体平均を下回っています。平成18年度は81.8%と僅かに向上しました。特に固定資産税の徴収率が極端に低く、今後も滞納整理の強化等に取り組みます。		課 題	自主財源の確保	自主財源の確保については、町税の確保とともに、未利用地売払い等による財産収入の増額や、使用料・負担金等の見直しに取り組みます。また使用料や負担金の滞納整理についても積極的に実施します。		課 題	給与水準の適正化	平成17年度のラスパイレス指数は79.6%で類似団体内で最下位となっています。地域手当の廃止と併せ給与水準の適正化を図ります。	
課 題	上下水道事業に対する繰出金の適正運用																				
上下水道事業に対する繰出金は年々増加しています。皆野・長瀬水道企業団及び秩北衛生下水道組合（公共下水）の経営改善に取り組み、財政の健全化を図ることにより繰出金を削減します。																					
課 題	特別会計に対する繰出金の適正運用																				
特別会計（国保・老保・介護）に対する繰出金は年々増加しています。特に国保特会に対する赤字補てん財源繰出金は平成17年度が71,265千円であり、今後は国保税の見直しを検討し実施します。																					
課 題	町税徴収率の向上																				
平成17年度の徴収率は81.6%で類似団体平均を下回っています。平成18年度は81.8%と僅かに向上しました。特に固定資産税の徴収率が極端に低く、今後も滞納整理の強化等に取り組みます。																					
課 題	自主財源の確保																				
自主財源の確保については、町税の確保とともに、未利用地売払い等による財産収入の増額や、使用料・負担金等の見直しに取り組みます。また使用料や負担金の滞納整理についても積極的に実施します。																					
課 題	給与水準の適正化																				
平成17年度のラスパイレス指数は79.6%で類似団体内で最下位となっています。地域手当の廃止と併せ給与水準の適正化を図ります。																					
留意事項	<p>平成14年度末では1,829,936千円あった積立基金残高が、平成17年度末では937,026千円にまで減少しています。今後は、基金からの繰入金を最小限にとどめ、歳入規模に応じた財政運営を行っていくためにも、徹底した歳出削減に取り組みます。</p>																				

注1 「財務上の特徴」欄は、人口や産業構造、財政構造や地域特性等を踏まえて記載すること。また、財政指標等について、経年推移や類似団体との水準比較などをし、各自工夫の上説明すること。

2 「財政運営課題」欄は、税収入の確保、給与水準・定員管理の適正合理化、公債負担の健全化、公営企業繰出金の適正運用、地方公社・第三セクターの適正な運営等、団体が認識する財政運営上の課題及びその具体的施策について、優先度の高いものから順に記載する。また、財政運営課題と認識する理由を類似団体等との比較を交えながら具体的に説明すること。

3 「留意事項」欄は、「財政運営課題」で取り上げた項目の他に、財政運営に当たって補足すべき事項を記載すること。

4 必要に応じて行を追加して記入すること。